



やすひさの瓦版 (第108号)

2017年4月21日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

日本復活へ、改革の手を緩めることなく日々前進。

春光うらかな季節を迎えましたが、お元気でお過ごしでしょうか。新年度の門出を皆様とともにお慶び申し上げます。3年目においても、厚生労働大臣の職務に引き続き全力で打ち込むことができますのも、皆様の永年の温かいご支援、ご指導のお陰さまと、改めて心より御礼申し上げます。

さて国会では連日、「働き方」は「暮らし方」というコンセプトの下、日本の企業文化や風土を変え、「成長と分配の好循環」を実現するための大改革に取り組んでいます。安倍内閣の最大のチャレンジである「働き方改革」は、この3月、安倍総理の下で私が議長代理を務めた「働き方改革実現会議」が「働き方改革実行計画」を発表し、労働基準法70年の歴史で初めて労使が合意を果たした「法律による罰則付きの時間外労働の上限規制」や、「正規」と「非正規」の不合理な処遇差の解消をめざす「同一労働同一賃金」、「エイジレス社会」を目指す「高齢者の就業促進」などを実現するため、具体的な法改正へと取り組んでまいります。

また、4つの人口問題（人口減少、労働人口

減少、高齢化、低出生率）に直面する日本が、国民皆保険などの保健医療制度を維持するため、健康・医療・介護においてICT利活用を標準化する中で一体的に進める「データヘルス改革」のほか、国民の皆様の生活に最も近い場所にある子育て支援、介護環境の整備については、保育・介護の処遇改善、受け皿の整備・拡充、両立支援などについて、平成29年度予算でしっかり措置するなど、着々と対策を講じています。

愛媛の雇用・経済情勢については、全国的な好転の流れと共に改善傾向が見られ、愛媛の完全失業率は直近で2.5%、有効求人倍率は1.51倍と、いずれも着実に改善が進んでいます。しかし私たちは、この好転しつつある経済の流れを後戻りさせることなく、更に前へ強めていかなければなりません。引き続き、愛媛、松山で、活躍も、苦勞もされている皆様の生の声をしっかりと受け止め、日々、改革の手を緩めることなく、全力で取り組んでまいります。皆様の温かいご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



第3回OECD保健大臣会合の参加し、二日間にわたり活発な議論を行う。多くの保健大臣と交流を深める。(1/17、フランス・パリ)

※裏面に関連記事



愛媛大学医学部附属病院にて第一種感染症病床施設の開所式に出席。本施設が、愛媛の、そして日本の「あるべき医療」のリード役となることを期待。(2/11、愛媛大学附属病院)

「やすひさ」が行く、見る、聞く!



地域主催子どもお餅つき大会に参加。(1/22、松山)



道後湯あがり朝市にて皆様から元気を頂く。(2/26道後・にぎたつの路)



市内各地のグラウンドゴルフ大会にて激励させて頂く。(2/26、松山)



校区集会を開催し、生の声をお聞きする。(3/25、松山)

松山で開催された全国児童館・児童クラブ全国大会に出席。子供の支援に関しても、地域の人々が「我が事」として主体的に取り組む、「丸ごと」包括的に支えて行く「地域共生社会」を推し進めていく決意を述べる。(2/4、松山)



第84回自由民主党大会にて、長年、党にご貢献頂いた方へ贈られる総裁表彰の受賞者の皆様を囲む。地元の皆様に支えられてこそ、国会議員として仕事に励むことができるのだと改めて感謝申し上げる。(3/4、東京)



「医療政策サミット2017」にて、日本の医療政策の今後について講演。世界に例を見ない速さで高齢化が進行する我が国において、ビッグデータ、AI等の技術革新をフルに活用し、国民皆様の目線に立った医療介護サービスを実現する決意を表す。(2/18、東京)

「働き方改革実現会議」にて「働き方改革実行計画」を決定する。人口問題に直面する我が国にとってこの改革こそが、「成長と分配の好循環」を実現するエンジンであり、法制面を含めた対応を確実に推進して参ります。(3/28、東京)



第3回OECD保健大臣会合



第3回 OECD 保健大臣会合において、日本の厚生労働大臣としてはじめてパネルディスカッションに参加。超高齢化社会を迎える日本が国民皆保険制度の持続性を旨すとともに、技術革新等

を活用し、国民・患者目線に立った健康・医療・介護サービスの提供を工夫していることを紹介する。(1/17、フランス・パリ)
※表面参照



Topics データヘルス改革とは

これまで、様々な縦割り構造のためデータが分散し、国民が有効に活用できなかった健康・医療・介護などの様々な情報を、ICTの技術革新を取り入れてデータを整理、分析できるようにすることで、予防医療や生活習慣病対策、個々人に最適な健康管理・診療・ケア等を実現しようという取り組み。ICTインフラを2020年度から本格稼働すべく、厚労省内に「データヘルス改革推進本部」を設置し検討を進めている。

～あなたの声を政策に～ 参加者大募集!

ご近所やサークル、職場、ご友人など、お仲間の輪の中に塩崎やすひさが参ります。ぜひ皆さんの暮らしの「生の声」をお聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久事務所
089-941-4843 (早瀬・中田)

